

平成29年度 11月

やちご通信 やすらぎと笑顔の学校

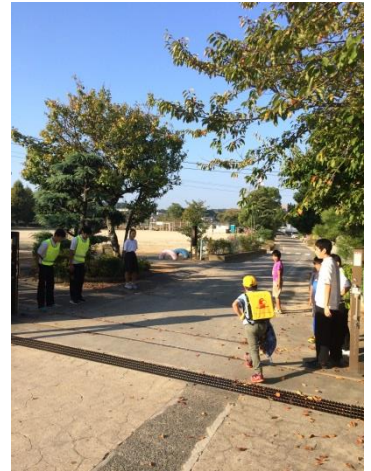


北九州市立八児中学校

文責 校長 井津 弘

みんなであいさつ「朝は元気におはよう」10月10日・20日

10月10日(火)・20日(金)に「小中合同いじめ防止挨拶運動」がありました。八児小学校の児童会と八児中学校の生徒会がタイアップして、合同でお互いの学校の校門で朝の挨拶をしました。小学校と中学校の児童生徒が一緒になって登校してくる児童生徒に「おはようございます。」と呼びかけました。いじめ防止の一環として、今年から市内全小中学校が合同で行う事業です。日頃から挨拶がよくできている両校の児童生徒にとっては、いつも通りのことのようにです。しかし、小学校の校門の前に中学校のお兄さんやお姉さんたちがいること、中学校の校門の前に小学校の児童がいるという光景は珍しく、少し驚きながら挨拶する児童生徒もいました。挨拶によって、両校の児童生徒のきめ細かな交流の一助となれば幸いです。



笑顔でスパーク「ダンスフェスティバルに参加」(10月14日)

10月14日(土)に小倉北区のリバーウォークの芸術劇場で「第9回2017ダンスフェスティバル」がありました。このダンスフェスティバルは「小・中学生向け薬物乱用防止キャンペーン」の一環で、北九州市薬剤師会と教育委員会の主催で行われました。当日は小学校の部に7校、中学校の部に8校がエントリーしました。

本校からは7人の女子による有志が参加しました。チーム名は“Panthers”です。メンバーは3年生の橋本望希さん、太田優香さん・小脇陽恵さん、2年生の川寄理子さん・田中琴奈さん・森山凜さん・福岡万季さんです。夏休みから、勉強や日頃の各自別々の部活動の練習の合間にダンスの練習を重ねてきました。キレキレのダンスを大勢の観客の前で披露しました。



“稲刈り”(10月20日) “脱穀”(11月7日)

10月20日に「稲刈り」を行いました。6月19日の「田植え」から大きく成長した稲を、地域のボランティアの方々、済美保育園の園児の皆さん、八児小学校の5年生の児童の皆さん、そして本校全生徒で稲刈りをしました。晴天に恵まれ、



まず初めに2年生が竹を使って“はざ”を作り、稲刈りをスタートさせました。次に、1年生と済美保育園の園児が、鎌を使って実った稲を刈りとり、束ねた稲をはざ掛けしました。最後に八児小学校の5年生と3年生が仕上げました。後日(11月7日)1年生が脱穀をしました。いよいよ1年間の「稲作体験学習」の最後を飾る学習、収穫祭が12月9日(土)に行われる予定です。保護



者や地域の皆様にはいろいろとご協力・ご支援を賜ります。

「協和音～168の華を咲かせよう！」文化発表会（11月3日）

11月3日（金）【文化の日】に第42回文化発表会が行われました。今年度のスローガンは「協和音～168の華を咲かせよう！」です。開会行事の後に、オープニングは八児学級2組の息の揃った勇壮な和太鼓でした。次に合唱部がNHKコンクール課題曲など、美しい歌声を披露してくれました。プログラム4番目は、1年生の学年合唱とリコーダーです。心温まるハーモニーと学年が一つになったアンサンブルが印象的でした。次は、学年合唱と器楽合奏の2年生でした。「Hail Holy Queen」「アフリカン シンフォニー」と懐かしい曲を発表してくれました。難易度の高い楽曲でしたが練習の成果が出ていました。次に、イングリッシュコンテスト参加者による英語スキットです。「第13回イングリッシュコンテスト」のスキット部門（3人）と暗唱部門（1人）の3年生4人による英語スピーチの披露です。プログラム7番目は、「2017ダンスフェスティバル」に参加したユニットの登場です。キレのあるダンスで見ている人たちに元気を与えてくれました。午前中最後は、3年1組による劇「人形館」です。甘える自分との闘いを中学3年生の視点でとらえた意義深い内容でした。午後一番は、3年2組による劇「夢屋」です。思春期に訪れる周りの環境への不満や自由への憧れが素直なタッチで演出されていました。自由とは、責任が付随してくることを学んだような気がします。最後は全校生徒による合唱「ふるさと」「校歌」を披露しました。人数が少なくても迫力と繊細さが有終の美を飾ってくれました。また、展示の部では、柔剣道場（心明館）にて、文化部（華道部・美術部）や授業で制作した力作が披露されました。保護者や地域の皆さまの声援と拍手が何よりも大きな励みとなり、生徒たちは、日頃の授業や練習の成果を存分に発揮してくれました。文化の源となる学校が文化の薫る町づくりとなることを教えられました。



響け八児中の歌声（八幡西区連合音楽会に参加して）（11月8日）

11月8日（水）に黒崎ひびしんホールにおいて、八幡西区連合音楽会がありました。

本校の合唱部と2学年全員が参加しました。2年生は文化発表会で披露した「Hail Holy Queen」「ふるさと」を歌いました。参加校の中で一番少ない人数の合唱でしたが、他の多数の学校と比べてもそんな色の無いハーモニーと元気さで魅了しました。合唱部は合同合唱で8校の合唱部といっしょに「アニーローリー、グリーンスリーブス、ロンドンデリーの歌、ハレルヤ」を歌いました。すばらしいホールで最高の音響で歌う経験は、本当に感性をゆさぶられることができました。圧巻は、西区参加中学生全員で歌う全体合唱「夢の世界を、さようなら」の迫力と交流でした。



校長のひとり言 子どもの頃、学校での校長先生の話は長くて難しく、すぐに忘れることが多かったような記憶があります。先日、全校生徒の前で話をした内容を振り返ってみます。「出張で東京に行きました。その時、東京駅の地下を歩いていますと、たくさんの方が、ぎっしり歩いています。その時に感じたことですが、同じ人は一人もいないんです。皆さん一人一人違うんですね。こんなにたくさんの方がいるのに、同じ人が一人もいない。その時、はっと気付いたのは、私も世界でただ一人の私なのということでした。その世界でただ一人の私を、どんな私に仕上げていくか。その責任者が私であり、皆さん一人一人なんです。」果たして、子ども達にはどのように伝わったのでしょうか。「私の子ども時代の校長先生はどのように何を伝えようと考えていたのだろう」と考える今日このごろです。